授業科目	＊基礎助産学Ⅰ					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	杉浦　絹子						
授業概要	助産師の定義、助産学の基盤となる助産の概念・理論、助産師が行なうケアを支える理念、および助産師の活動について学ぶ。また、助産を取り巻く歴史的変遷を理解し、助産師に期待される役割について考察する。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．助産の基本概念と助産師のコアコンピテンシーについて説明できる。 2．日本における助産師の責務と役割、法的位置づけについて説明できる。 3．わが国の母子保健の動向と課題を説明できる。 5．助産実践現場における倫理的課題を説明できる。 6．助産師教育の変遷と未来に向けた助産師の活動について考察できる。
理想的レベル	標準的なレベルに加えて、女性を中心としたケア（Women-centered care)や家族を中心としたケア（Family-centered care)、 子どもの人権や子どもを中心としたケア（Child-centered care)に基づく助産師の行うケアについて考察できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	MI11101J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：2 冊の教科書および助産師業務要覧基礎編、応用編の該当箇所を読んでおく。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：助産・助産師の概念と意義　（杉浦 絹子） ・助産の定義・起源・意義・本質・対象 　日本助産師会、ICM（国際助産師連盟）、WHO（世界保健機関）の助産師の定義・役割 ・助産師のコアコンピテンシー

第2回	テーマ：助産師の活動と活動の場（外部講師）
第3回	テーマ：助産師の業務と責務、関連法規　（杉浦絹子） ・助産師の業務と関連法規・制度 　保健師助産師看護師法、医療法、医師法、刑法、戸籍法、母体保護法、児童福祉法、母子保健法 　母子保健医療対策総合支援事業
第4回	テーマ：母子保健の動向　（杉浦絹子） ・母子を取り巻く現状 ・母子保健の変遷 ・母子保健施策と助産師の活動 ・母子保健の新たな課題
第5回	テーマ：助産師教育の変遷と現在　（杉浦絹子） ・産婆の職業化と産婆教育 ・産婆の免許制度 ・産婆教育から助産師教育へ ・卒後教育 ・世界の助産師教育
第6回	テーマ：助産の中心的概念・理論と研究　（杉浦絹子） ・助産の中心的概念 　リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、女性を中心としたケア（Women-centered care）、家族を中心としたケア（Family-centered care）、 子どもの人権や子どもを中心としたケア（Child-centered care） ・助産実践を支える理論 　アタッチメント理論、ボンディング理論、子どもの誕生に伴う親の役割移行、ルービンの母性論、マーサーの母親役割の達成理論 ・対象を理解するための理論 　セルフケア理論、発達理論、危機理論 ・助産師と研究
第7回	テーマ：助産師と倫理　（杉浦 絹子） ・ICMによる助産師の国際倫理綱領

	・日本助産師会の助産師の倫理綱領 ・助産師の倫理的感応力 ・助産実践に関わる倫理的課題
第 8 回	テ-マ：助産の歴史と文化（杉浦 絹子） 助産の歴史 ・古代から江戸時代の助産 ・明治時代から昭和時代の助産 助産の文化 ・わが国の助産習俗 ・諸外国の助産
テキスト	我部山キヨ子他編：助産学講座　基礎助産学［1］助産学概論　　医学書院 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト第 1 巻助産概論・母子保健　　日本看護協会出版会 福井トシ子編：助産師業務要覧 3 版 基礎編 実践編 アドバンス編　　日本看護協会出版会
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・母子衛生研究会　：わが国の母子保健 ・厚生労働統計協会　・国際助産師連盟：厚生の指標　国民衛生の動向 https://www.internationalmidwives.org/ ・国連人口基金（UNFPA）https://www.unic.or.jp/info/un/unsystem/other_bodies/unfpa/ ・日本助産学会　https://www.jyosan.jp/ ・日本助産師会　https://www.midwife.or.jp/index.html
課題に対するフィードバックの方法	ミニッツペーパーに書かれた質問等には、次回の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。 成績発表後に解答例を解説も含めて提示します。
学生へのメッセージ・コメント	助産学の基本理論領域で重要な科目です。 事例や動画を基に意見交換を行なう時間を適宜設けます。積極的な参加を期待します。